科目ナンバリング	U-LAS55 10001 SB31						
授業科目名 <英訳>	多文化教養演習 ：見・聞・知@香港 Seminar for Multicultural Studies : Watch, Listen and Learn @ Hong Kong			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 准教授 韓 立友 国際高等教育院 教授 河合 淳子 国際高等教育院 准教授 家本 太郎 国際高等教育院 特定准教授 若松 文貴		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	多文化理解			使用言語	日本語及び英語
旧群		単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・ 前期集中	曜時限	集中 集中・未定	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

多文化教養演習 ：見・聞・知@香港は、①京都大学が実施する「多文化共学短期[派遣]留学プログラム」と呼ばれる短期留学、②事前学習、③事後学習から成る授業である。見・聞・知は、「けん・ぶん・ち」と読み、様々な人々と対話し、多文化に深く接する経験を積むこと（＝見・聞）、そしてその経験の中で主体的に学んでいくこと（＝知）が重視されることを表している。
本演習の目的は、多様な文化的背景を持つ学生と共に学ぶことを通して、相手文化への理解を深めるとともに、自分自身が身につけてきた文化をも捉え直す経験をし、それを日本語、英語、もしくは現地の言語で表現できるようになることである。これらのことは、将来にわたって国際活動を行うための基礎能力を養成することとなる。

具体的には、京都大学と大学間学生交流協定関係にある香港中文大学の協力を得て、(1)派遣先大学が提供する中国語講座、(2)現地学生との共同セミナー・共同学習、(3)派遣先大学提供の講座受講・実習・実地研修・文化体験を行う。
(1)の中国語講座では、4レベルの中国語（普通話）の授業が提供され、語彙、文法、会話能力の向上を図る。各レベル、講義と実習等の2種のコースが提供される。講義は簡体字を使用する。(2)の共同セミナーは現地教員との連携で開催し、双方の学生が文化や社会問題に関する発表を行い、議論する。また、(3)については、各種文化体験、歴史的、文化的な名所・遺産の訪問機会が得られる。香港中文大学が提供する講義や本授業全体を通して、東洋と西洋の文化が融合する香港という地域の持つ特性を体感し、受講生自身が育ってきた文化的背景、社会的背景を省みる機会とすると同時に、昨今の国際情勢における当地の状況、日本の位置づけへの理解を深める。

[到達目標]

・短期留学の経験並びに現地の学生と共に学び議論することを通じて、日本文化（あるいは自分自身の身につけてきた文化）を相対化して客観的に捉えながら、それを相手に分かりやすく伝えられるようになる。
・また、同様の活動を通じて、派遣先である香港の文化、社会、習慣への理解、さらには日本と香港との関係、互いの世界における位置づけ等についての理解を深める。
・現地で提供される講義、実地研修を通じて、文化、社会、習慣について多様なアプローチを理解する。
・現地学生を含む多様な文化的背景を持つ学生とコミュニケーションを図る意義を理解し、それを可能とする能力の基礎を習得する。
・中国語能力を向上させ、よりレベルの高い表現力を習得する。

[授業計画と内容]

研修の詳細についてはKULASISで確認すること。
以下の別途申し込みをする必要があるため、申込方法などについて登録者に送られる案内、KULASIS等を参照すること。

プログラムスケジュール予定

多文化教養演習 ：見・聞・知@香港(2)へ続く↓↓↓

多文化教養演習　：見・聞・知@香港(2)

（１）7月上旬～8月初旬：事前語学授業(10時間程度）、共同セミナー発表準備（4時間程度）
（２）8月初旬～8月下旬：短期留学プログラム（於、香港中文大学）
仮スケジュール
1日目日本発、香港着、キャンパスツアー
2日目　・開講式、オリエンテーション
・16:00－18:30共同セミナー準備
3日目　・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:30－20:30体験学習1/3①（食文化①*）
4日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:30－20:30体験学習2/3（書道）
5日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:00－20:30共同セミナー準備
6日目　・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:00－20:30香港中文大学・京都大学学生共同セミナー
7日目　・08:30－18:30学生等引率による課外実習（ランタオ島訪問）
8日目休み（日曜日）
9日目　・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:00－19:00共同セミナー報告
10日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:00－20:00講義受講1/2「香港の歴史」「現代香港情勢」等（担当：香港中文大学教員）
11日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:30－20:30体験学習1/3②（食文化②*）
12日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:30－20:30体験学習3/3（伝統工芸実習_印鑑デザイン・彫刻）
13日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:30－20:30文化体験1/3③（食文化③*）
14日目、15日目 休み（土曜日、日曜日）
16日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
17日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
・18:00－20:00講義受講2/2「香港の歴史」「現代香港情勢」等（担当：香港中文大学教員）
18日目・09:30－12:30中国語授業
・14:30－17:30中国語授業
19日目試験、修了式
20日目香港出発、日本帰国
*は、①～③から一つ選択
（３）3月下旬　報告会（1.5時間、於、京都大学）

多文化教養演習　：見・聞・知@香港(3)へ続く↓↓↓

多文化教養演習　：見・聞・知@香港(3)

[履修要件]

全学共通科目「日本語・日本文化演習」を受講した上での参加を推奨する。中国語初学者も歓迎するが、全学共通科目「中国語」等の関連科目を受講していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

事前学習への参加状況（15%）、派遣先大学における評価（60%）、帰国後の報告会および報告書（25%）による。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・香港文化、香港社会に関する文献を読むこと。
・現地で受講する講義で指定される文献を読んでおくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

＊オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。